【障害者】

障害者福祉施設や介護施設、保育所などへ物価高騰支援が実現

2022 年第 3 回定例会において補正予算が組まれ、物価高騰対策として、障害者福祉施設や介護施設、保育所などへの運営費補助が盛り込まれました。

共産党区議団と障害者団体との懇談のなかで、「コロナや物価高の影響を受け、十分な収入が確保できず、工賃等を減らさざるを得ない。支援して欲しい」との声が寄せられ、区長要望や本会議質問で、区の支援を求めてきたものです。

区は、補助金の使途を問わず、障害者・介護の入所施設には、定員 1 人当たり 3 万 5 千円。デイサービスや就労支援 B 型などの通所施設には、定員 1 人当たり 1 万 5 千円を支給。認可保育園や認証保育所など子ども関連の施設には、定員 1 人当たり 600 円支給としました。障害者団体からは、「本当に助かりました」など、感謝の言葉が寄せられました。

失語症者への意思疎通支援者派遣制度が実現

家族会や共産党区議団の努力が実り、23 年 4 月から失語症者への意思疎通支援者派遣事業がスタートしました。

失語症は、脳卒中や頭部外傷などが原因で言語機能が低下し、周囲とのコミュニケーションが取れず、日常生活に支障をきたす障害です。

共産党区議団は、失語症者の家族会に寄り添い、言語聴覚士の方がたも含めて懇談を重ね、2020年11月の本会議質問を皮切りに、予算委員会、厚生委員会などで失語症者への理解促進と失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の実施を区に繰り返し求めてきました。

2022 年第 3 回定議会の厚生委員会において、失語症者の家族会から提出されて

いた「失語症者への意思疎通支援者派遣制度の実現を求める陳情」が採択され、本会議では、全会派一致で陳情を採択しました。

家族から区議団に感謝のメール

家族関係者から区議団宛に、厚生委員会・陳情審査での「この制度は、失語症の方や家族への大きな応援になるとの発言に、感激で涙が出そうになりました」とのメールが届きました。



障害者特別手当制度の周知を改善

「障害者手帳が無くても申請は可能」、「施設入所先によっては対象になる」ことを明記

障害者特別手当(国の制度)は、身体障害により、常時介護が必要な 20 歳以上の方に対し、月額 3 万 450 円を支給する制度で、要介護 3 以上の方も支給対象の可能性があります。

この間、区の区報やホームページでの制度紹介では、障害者手帳が無くても申請が可能であることや、施設入所者の対象範囲について、有料老人ホームや短期入所施設、グループホーム、サービス付き高齢者住宅は支給対象などが不記載でした（特養ホームは対象外）。また、要介護認定での要介護 3 以上の場合には、支給対象の可能性があるにも関わらず記載が無いなど、区民への周知が不十分でした。

区議団は、2022 年第 2 回定例会、同年第 4 回定例会の本会議質問を皮切りに、これらの問題点を繰り返し指摘し、周知方法の改善を求めてきました。

その結果、区は、区報・ホームページでの周知について、「障害者手帳が無くても申請は可能」、「施設入所先によっては対象になる」など、一部改善が実現しました。

引き続き区議団は、施設入所の具体的表示とともに、要介護 3 以上の要介護認定通知に制度の紹介を同封すること、長寿サポートセンターなどでの周知を求めています。

区内初　重度の障害者入所施設が塩浜に開設

障害者団体との予算要望などの懇談では、毎年、障害者のグループホーム増設を求める声が寄せられていました。こうした声を受け、共産党区議団は、障害の重度化、障害者や介護者の高齢化による「親亡き後」を見据え、重度障害者の入所施設の設置を繰り返し区に求めてきました。

こうした議会での論戦と障害者家族・団体の声が実り、2023 年 4 月に、区内初・重度の障害者入所施設=「Up to You 塩浜 Living」が塩浜に開設されました。 (生活介護 60 床。内 45 床が入所施設、通所 15 床。ショートステイ 6 床)

医療的ケアが必要な重度障害者も受け入れられる入所施設の設置に、障害者の家族・団体などからも喜びの声が上がりました。

重度の障害者グループホーム増設

塩浜の重度障害者入所施設は、地域生活の移行支援を行う施設のため、入所後 3 年をめやすに退所することが原則となっています。そのため区議団は、退所後の受け入れ施設となるグループホームの増設を求めてきました。

区議団は、区に対し、障害者・家族の施設入所希望調査を実施し、必要な施設整備計画を策定すると同時に、グループホームの早期増設を繰り返し求めてきました。

区は、調査実施は拒否しているものの、重度障害者の入所施設・「Up to You 塩浜 Living」退所後の受け入れ施設にもなる、障害者グループホームを 2027 年 4 月開設予定で牡丹 3 丁目の都有地に増設することを決定しました。（定員 20 人。短期入所定員 3 人。運営:社会福祉法人睦月会)

共産党区議団は、引き続き、障害者のグループホーム増設を求めています。

介護・福祉事業所の若年層職員に家賃補助

江東区は、2026 年 4 月より介護・福祉事業所の若年層職員（採用時 34 歳以下）を対象に、勤続 6 年目まで月額 2 万円の家賃補助を実施することになりました。

共産党区議団は、毎年、介護事業所や福祉事業所との予算要望懇談を重ねてきましたが、「職員不足が深刻」「区の支援を」との切実な声が寄せられていました。

区議団は、25 年第 3 回定例回の本会議質問で、介護・福祉事業所で働く職員の住宅費負担軽減などを提案。区は、「人材確保や定着に向けた新たな施策について検討する」と答弁。26 年度 4 月より家賃補助が実現しました。

